

科目名	公認心理師の職責		担当教員	後藤 綾文、高村 和代	
単位	2単位	講義区分		ナンバリング	ED2SPS301
期待される学修成果	教科教育 態度				
アクティブ・ラーニングの要素	ディスカッション、ディベート				
実務経験	臨床心理士・公認心理師				
実務経験を生かした授業内容	臨床心理士および公認心理師の経験を活かし、公認心理師の職責について講義する。				
到達目標及びテーマ	公認心理師としての職責を自覚し、対象者に対する法的義務、倫理の重要性を身につける。支援を要する者等の安全を最優先し、守秘義務及び情報共有の重要性を理解して情報を適切に取扱うことができる。多分野での業務内容と支援法を学び、多職種連携・地域連携による支援の意義について理解し、チームにおける公認心理師の役割について説明できる。そして、自分の力で課題を発見し、自己学習によってそれを解決すること、及び生涯にわたり自己研鑽を続ける意欲及び態度を身につける。				
授業の概要	公認心理師とはいかなる存在か、その意義や役割を知り、クライアント・患者を取り巻く法律、倫理についての重要性を学び、幅広い対象者について理解していく。さらに多分野にわたる心理師の具体的な業務内容を習得しながら、よりよい支援を考え、自らも専門家として成長することを学ぶ。				

授業計画	
第1回	公認心理師の意義と役割
第2回	公認心理師の法的義務・倫理
第3回	クライアント・患者らの安全の確保のために
第4回	情報の適切な取り扱い
第5回	倫理的な課題の解決
第6回	保健医療分野における公認心理師の具体的な業務（外部講師による講義）
第7回	福祉分野における公認心理師の具体的な業務（外部講師による講義）
第8回	教育分野における公認心理師の具体的な業務（外部講師による講義）
第9回	司法・犯罪分野における公認心理師の具体的な業務（外部講師による講義）
第10回	産業・労働分野における公認心理師の具体的な業務
第11回	支援者としての自己課題発見・解決能力
第12回	多職種連携・地域連携
第13回	公認心理師の今後の展開
第14回	生涯学習への準備
第15回	まとめ

事前学修	2時間	資料を精読してくること。
事後学修	2時間	小課題を課すので、講義内容を復習しながら課題に取り組むこと。
フィードバックの方法	その都度授業時間内に全体に対して口頭で行う	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
レポート	70%	公認心理師が働く各領域についてのグループレポート発表内容が具体的に説明できているかを評価する。
上記以外の試験・平常点評価	30%	毎回の課題に対する取り組みにより評価する。
定期試験	0%	実施しない

補足事項	
------	--

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
なし	なし	なし	なし	なし
参考資料	必要に応じて適宜紹介、配布する。			